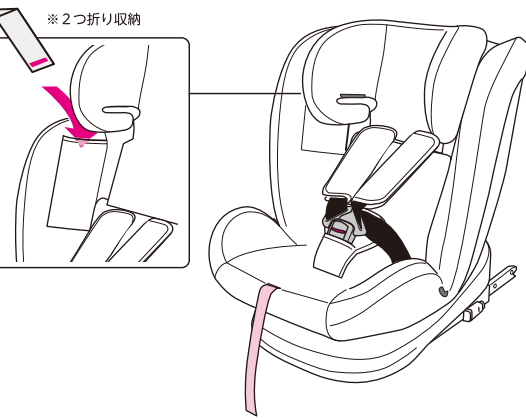


# 取扱説明書 保証書付

## はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。この取扱説明書は、取扱説明書ポケットに入れて大切に保管し、必要に応じてお読みください。



i-Size(アイサイズ)  
チャイルドシート/ブースターシート  
型式/TYP E : C06300  
規則/Regulation : UN R129/03  
サイズ範囲/Size Range :  
身長 76cmから150cm以下

リーマン株式会社 www.leanman.co.jp  
〒496-0911 愛知県豊田市西保町南川原68-1  
お客様相談室 TEL. (0567) 27-0173  
受付時間 月曜日～金曜日 (祝日・弊社規定日は除きます)  
AM10:00-12:00 PM1:00-5:00

**表示マーク** この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

- 警告** 記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 注意** 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
- 禁止** 図示されている内容の禁止を示しています。
- 確認** 安全のため、必ず確認していただきたいこと。
- アドバイス** より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。
- Q** うまくいかない時は、うまく作動しない時などに役立つ補足説明がまとめてあります。ご参照ください。

C6310-2

※製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら当社お客様相談室へご連絡ください。 ※製品の性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。

## クイックガイド/目次

(オモテ面) (ウラ面)

### 事前準備

- 1 適合の確認
- 2 取付けできない座席
- 3 作業スペースの確保
- 4 各部名称
- 5 使用条件の確認
- 6 リクライニングの仕方
- 7 ヘッドレスト調節の仕方
- 8 ご使用上の警告/注意

### お車に取付ける

#### チャイルドシートモード

- 1 取付けの準備
- 2 ISOFIXコネクタを差し込む
- 3 トップテザーをアンカーに接続する
- 4 乗せる準備をする(幼児ベルトの引き伸ばし方)
- 5 お子さまを座らせる
- 6 幼児ベルトの高さ調整(ヘッドレスト調節)
- 7 お子さまを拘束する(幼児ベルト調節)
- 8 拘束ポイントを確認する
- 9 取付けを確認する
- 10 お子さまを降ろす(幼児ベルト調節)

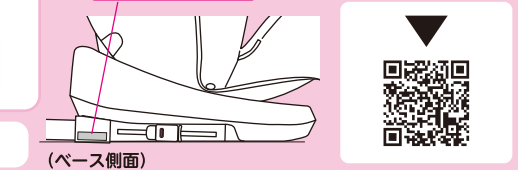
#### ハイバックモード

- 1 チャイルドシートモードからハイバックモードへの変更
- 2 取付けの準備
- 3 車両への固定
- 4 お子さまを座らせる
- 5 拘束ポイント/取付けを確認する

### メンテナンス

- 1 カバーを取りはずす(カバーを取付ける)
- 2 重要な注意すべき点
- 3 洗濯と日常のお手入れ
- 4 保管/廃棄の仕方/製品仕様

17:シリアルNo. SERIAL No. C06300-XXXXX



## 事前準備 はじめにシリアルNo.をお控えください。

[本取扱説明書] (オモテ面上方の保証書)、および同梱の「チャイルドシート保険兼お客様登録ハガキ」に「シリアルNo.」の記入欄があります。車両への取付けをおこなう前に「17:シリアルNo.」をお控えください。 ※車両への取付け後、車両シートで「シリアルNo.」が見えにくい場合があります。

### 1 適合の確認

R129とは i-Sizeとは  
R129とは、精度の高いダミー人形の使用や側面衝突に関する試験等、これまで以上に厳しい内容を定めたチャイルドシートに関する国連規則です。i-Sizeとは、お客様が簡単・確実に取り付けすることが出来る ISOFIX 固定方式を用いたチャイルドシートのカテゴリです。i-Size 適合車両のシートには、全般的に適合します。i-Size 表示 ※それ以外の車両のシートについては、車両適合表をご確認ください。また i-Size チャイルドシートでは、お子さまの成長にあわせて性能を発揮する為に、お子さまの身長にあわせた使用方法となっています。生後 15 ヶ月までは後向きでの使用が義務付けられています。

ISOFIXとは  
ISOFIX(アイソフィックス)とは、国際標準化機構によって定められた車両のシートにチャイルドシートを固定する方式で、車両シートに設置された ISOFIX 取付け金具を使います。本製品は、i-Size 適合の車両だけでなく、ISOFIX 表記やマークのある車両に使用することが出来ます。

- 適合の確認**
- 本製品は、i-Size(アイサイズ)改良型幼児拘束装置です。
  - 本製品は、車両メーカーの取扱説明書によって示されるアイサイズ適合車両の着座位置で主に使用するものとして UN 規則 No.129(UN R129/03) に基づいて認可されています。
  - 本装置はアイサイズブースターシート改良型幼児拘束装置です。本装置は、車両メーカーによって車両ユーザーズマニュアルに記載されている「アイサイズ着座位置」で主に使用するものとして、UN 規則 No.129 に従って認可されています。
  - 本製品は、お子さまの身長に対し、下表の ISOFIX チャイルドシートに対応した車両に取り付けることができますが、ISOFIX 取付け金具を装備したすべての車両に取り付けられるものではありません。弊社の車両適合表及び、車両メーカーの取扱説明書をご確認ください。
  - 本装置は、認可された車両が UN/CE 規則 No. 16 または同等の基準で認可された 3 点式リトラクター付き安全ベルトと ISOFIX 取付け金具を装備している場合のみに適しています。

身長/体重	設置向き	設置方法	カテゴリ
76-105cm 18kg以下	前向き	ISOFIX + トップテザー	i-Size
100-150cm 36kg以下	前向き	車両3点式シートベルト + ISOFIXコネクタ 車両3点式シートベルトのみ	i-Size ブースターシート

#### 取付け可能な車両シートベルトの種類

シートベルトの種類と特徴	前向き取付け注意点
ELR ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。	○ ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。
AELR シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	○ シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート(シートベルトを全て巻き戻すと解除される) 固定機能を解除してから取付けてください。
その他 上記にあてはまらないシートベルト。	✕ 使用できません。

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

### 2 取付けできない座席

- ISOFIX取付け金具が装備されていない座席。 前向き取付け時に取付け金具を使用しない取付け方法もあります。
- シートベルトの付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- 座面の奥行きが43cm以下の座席。
- エアバッグが装備されている座席。(サイドエアバッグのみの場合は使用できます。)
- 車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。(衝突の際にショックを吸収できません。)
- 本製品を取付けた際に、運転に支障を及ぼす座席、及び前部中央座席。(万一のとき乗員の安全が確保できません。)
- 助手席には取付けできません。
- 極端なポケットタイプなどの座席。(取付けた本製品が安定しません。)
- 座席の凹凸が極端で、取付けたときに不安定になる座席。
- その他、本製品を固定できない座席。

### 3 作業スペースの確保

安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。

- 取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。
- 車内の作業スペースを確保するため、ドアを開け、前座席を前に倒したり、スライドさせてから取り付けてください。
- 車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。

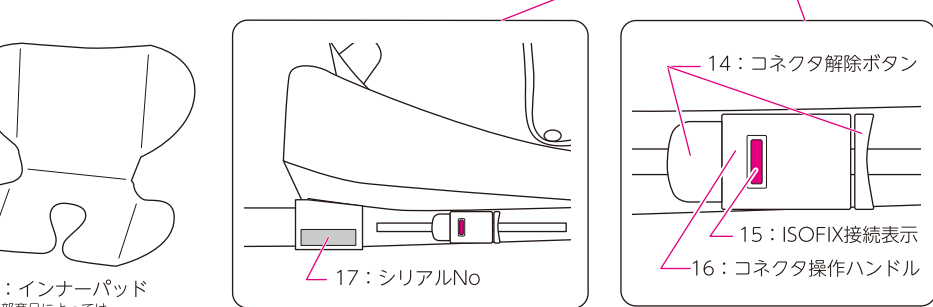
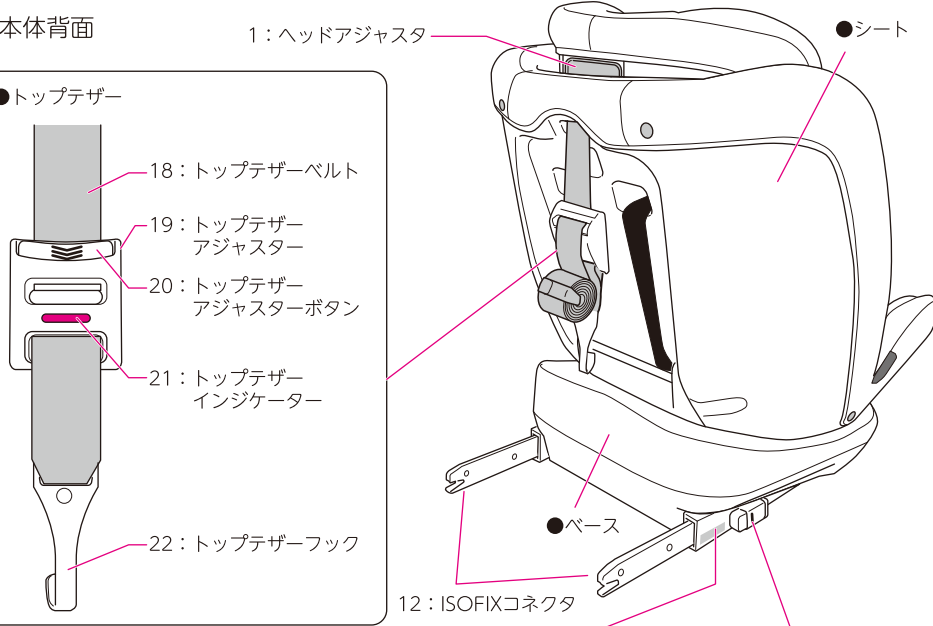
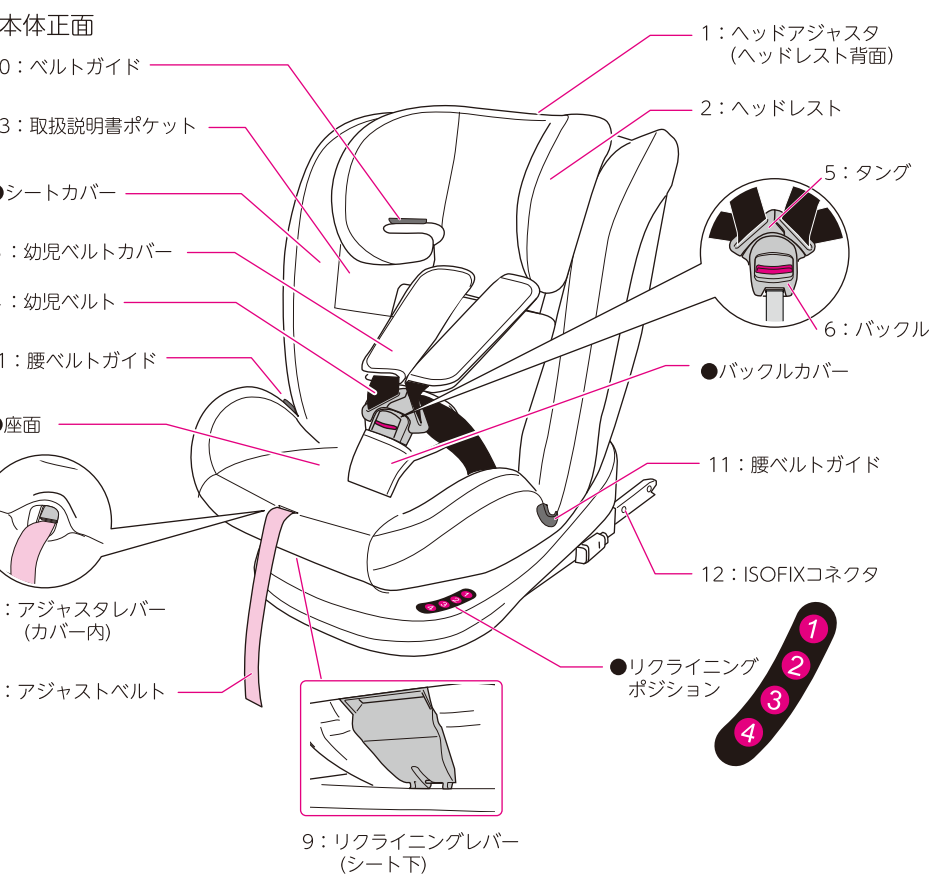
### 8 ご使用上の警告/注意

- ▲ 記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 本製品は取扱説明書どおりに固定してください。
- お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。
- 座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。
- チャイルドモード使用時、バックルをはずしたままの使用は危険ですので絶対にしないでください。(ハイバックモードを除く)
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けしないでください。
- お子さまが、バックルの赤いボタンを押さないように注意してください。ときどきバックルからはずれていないことを確認してください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。
- 本製品を改造したり、カバー類・フック類を取りはずして使用しないでください。
- シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。(衝突時の安全性に影響を与えるおそれがあります。)
- 車の座席にフックや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかりと固定されません。
- お子さまを車内にひとりで放置することは絶対にしないでください。
- 運転中に本製品の操作(ベルト調節/角度調節などの操作)をしないでください。
- お子さまの負担を考慮し1時間以上連続して使用しないでください。
- エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。
- 肩ベルトが首にかかっていると、事故等のときに圧迫されるおそれがあるため、肩ベルトの高さを、首にかからないように調整してください。
- 本製品の布製のカバーで覆われていない部分や金属部は、直射日光により高温になる可能性があります。お子さまがやけどをしないよう、直射日光を避け各部が高温でないことを確認してから使用してください。

### 4 各部名称

ご使用前に、各部品がそろっていることをお確かめください。

※使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。また、製品性能向上のため予告なく仕様変更することがあります。



#### 付属品

- 取扱説明書 (保証書付)
- プライバシーシール
- チャイルドシート保険兼お客様登録ハガキ ※必要事項をご記入の上、投函またはwebから登録してください。

### 5 使用条件の確認

- 車の進行方向に対して「前向き取付け」で使用してください。
- お子さまの身長に合わせた、下記使用条件にあわせてご使用ください。

チャイルドシートモード	ハイバックモード
使用リクライニングポジション ①②③④	使用リクライニングポジション ①②③④
▲月齢15ヶ月に満たないお子さまには使用しないでください。	
お子さまの身長	76cm~105cm
お子さまの体重	9~18kg以下
取付け方向	前向き取付け
固定方法	前向き取付け
使用する部品	ISOFIX取付け金具 + トップテザー

●本モードでは2通りの固定方法があります。

1. ISOFIX取付け金具 + 車両シートベルト
2. 車両シートベルト のみの固定。(ISOFIX取付け金具とトップテザーは使用しません。)

※ウラ面 チャイルドモード ①~⑨ 参照

※ウラ面 ハイバックモード ②~⑤ 参照

※身長 87cm までのお子さまはインナーパッドをセットします。(身長 87cm を超える場合は使用しないでください)

### 6 リクライニングの仕方

A 座面シート下にある [9: リクライニングレバー] を引き上げながら、シートの角度(リクライニングポジション)を、お子さまの様子に合わせて調節する。リクライニングポジションは、「チャイルドモード」「ハイバックモード」ともに①~④から選べます。

B レバーから指を離して本体をリクライニング方向にゆすり、ロックされていることを確認する。

本製品が車両ヘッドレストにぶつかってリクライニング操作ができない場合があります。

- ▲ 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずして使用してください。
- 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。
- ※ぶつかっても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。

- ▲ ベース背面やシート背面、リクライニングレバーの下のすき間に指や手などをいれたまま、リクライニング操作をしないでください。特に小さなお子さまの手などが入らないように、周囲を確認し、ゆっくりと慎重におこなってください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりとリクライニングさせてください。お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないように注意してください。

### 7 ヘッドレスト調節の仕方

[1:ヘッドアジャスタ]を上向きにつかみながら上下させると、[2:ヘッドレスト]の高さと連動して[2:ヘッドレスト]にある[3:肩ベルトガイド]の高さが14段階変更できます。

- ▲ 車両ヘッドレストに干渉する場合は、上げるか取りはずして使用してください。

- ▲ 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せる際には、本製品の取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態でおこなってください。)
- 本製品にお子さまを乗せたまま車両への取付け/取りはずしはしないでください。
- お子さまの乗り降りの際など、本製品の端に体重をかけて、転倒してケガなどをされるおそれがあります。
- お子さまが本製品の上で立ち上ったり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
- 座席の材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますので注意してください。本製品と座席が接する面にはタオルなどをあてて、使用してください。
- 可動式座席または車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)がはさまれないように本製品を取付けてください。
- ベルトを鋭利なもので傷つけないように注意してください。
- 本製品を車両以外では使用しないでください。
- 本製品を取付ける際は、取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。
- お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろすは必ず保護者の方がおこなってください。
- 本製品を持ち運ぶときは、ベース部以外をもたないでください。故障の原因となります。
- 爪をのびていたり、付け爪をしているとお束や調節操作をする際、巻き込まれるおそれがありますので注意してください。

緊急時には… 衝突などの緊急時には、あわず速やかにお子さまを救出してください。

チャイルドシートモード時

バックルの赤いボタンを押して、バックルをはずします。

幼児ベルトをお子さまからはずし、お子さまを救出してください。

バックルの赤いボタンを押しても、バックルがはずれない場合はシートベルトカッター(付属品)などでシートベルトを切断してお子さまを救出してください。

ハイバックモード時

車両バックルの赤いボタンを押して、バックルをはずします。

お子さまにかかっている車両シートベルトをはずし、お子さまを救出してください。

車両バックルの赤いボタンを押しても、バックルがはずれない場合はシートベルトカッター(付属品)などでシートベルトを切断してお子さまを救出してください。



**チャイルドシートモード** お子さまの身長: 76cm~105cm お子さまの体重: 9~18kg以下

固定方法 **ISOFIX取付け金具** + **トップテザー**

説明文・操作部位の頭番号は、表面 **△** 事前準備 **▲** 各部名称の番号を表しています。

### 1 取付けの準備

本体背面のトップテザーを、正面側に位置させる

A 本体背面のトップテザーを取り出し、巻いてある[18: トップテザーベルト]をほどき、約1mの長さ確保する。

B [20: トップテザーアジャスターボタン]を強く押しながら

C [19: トップテザーアジャスター]を事前に約1m移動させ、そのまま本体正面側へ位置させておく。

D 座面シート下にある [9: リクライニングレバー] を引き上げながら、シートの角度 (リクライニングポジション ①~④の中から選択可) を、お子さまの体に合わせ調整する。

### 2 ISOFIXコネクタを差し込む

A 走行方向に対し本体を前向きに設置する。

B [14: コネクタ解除ボタン] を押しながら [16: コネクタ操作ハンドル] を後ろに押し、左右の [12: ISOFIXコネクタ] を最大限押し出す。(左右は連動していません)

C ISOFIX 取付け金具の位置を確認し、本体をゆっくりと押し込み、左右の [14: ISOFIXコネクタ] を ISOFIX 取付け金具に接続する。

D 左右それぞれのコネクタから「カチッ」と音が聞こえるまでチャイルドシートを押し込み、左右の [15: ISOFIX 接続表示] が赤色から緑色に変わったことを確認する。

E 座席に密着するまで本製品を押し込みます。

F 本体を前後させ、[12: ISOFIXコネクタ] が伸縮しない(ロックされている)ことを確認する。

取りはずし方  
本体を座席に軽く押し付けながら [14: コネクタ解除ボタン] を強く押し、ISOFIX 取付け金具の接続を左右両側ずつ解除する。その後、[16: コネクタ操作ハンドル] を引き、[12: ISOFIXコネクタ] を格納する。

取りはずし方  
① [12: ISOFIXコネクタ] が縮んで接続がうまくいかない場合は、再度、ISOFIXコネクタを最大限押し出したあと ISOFIXコネクタが縮まないように [14: コネクタ解除ボタン] を持ちながら、ISOFIXコネクタを押し込んでください。

② [15: ISOFIX接続表示] が緑色にならない。→ 車両の ISOFIX 取付け金具にしっかりと接続されていない可能性があります。ベースの前方を少し持ち上げ、または車両シートをリクライニング(倒す)するなどして、差し込み角度を調整し、もう一度 [14: ISOFIXコネクタ] の差し込み操作をやり直してください。

③ [15: ISOFIX接続表示] が緑色になっていない。→ 取付けを中止し、一旦取りはずし、もう一度 ISOFIXコネクタの差し込み操作 ② B からやり直してみてください。

### 3 トップテザーをアンカーに接続する

A トップテザーを、車両のヘッドレストの下の隙間に通す。

B [22: トップテザーフック] を車両のトップテザーアンカーに固定する。

C [18: トップテザーベルト] を [21: トップテザーインジケータ] が「緑色」になるまで引っ張り、それ以上は引っ張らないでください。

▲ 余った [18: トップテザーベルト] は必ず巻き取り、ぶつからない様にいちばん短くして結束ベルトで留めてください。(右図、巻き取り方参照)

● [18: トップテザーベルト] は、インジケータが緑色になるまで引っ張ってください。締めすぎるとお車のシートをいためやすいため、必ず適度な力で引っ張ってください。

● [18: トップテザーベルト] はねじれないでください。

● [18: トップテザーベルト] が緩んでいるときは張り直してください。

巻き取り方 (巻く) hook 結束ベルト

取りはずし方

① トップテザーベルトの先端にある結束ベルトの面ファスナーはシートカバーに触れると生地表面をいためおそれがあるため、取扱いには十分注意してください。

取りはずし方  
[20: トップテザーアジャスターボタン] を強く押し、[18: トップテザーベルト] をゆるめながら [22: トップテザーフック] をはずす。

### 4 乗せる準備をする(幼児ベルトの引き伸ばし方)

A [7: アジャスタレバー] の奥側を押しながら、B 左右両方 (2本) の [4: 幼児ベルト] を同時に手前に引き出す。

① [3: 肩ベルトカバー] ではなく、必ず [4: 幼児ベルト] だけを引いてください。

C [6: パックル] の赤いボタンを押して [5: タング] をはずす。

D [4: 幼児ベルト] を左右に大きく開いてお子さまの座るスペースを確保する。

取りはずし方

① [3: 肩ベルトカバー] ではなく、必ず [4: 幼児ベルト] だけを引いてください。

### 5 お子さまを座らせる

※身長 87cm までのお子さまは [23: インナーパッド] をセットします。(身長 87cm を超える場合は使用しないでください)

[6: パックル] がお子さまの股の間に収まるようにして、お子さまを座面の奥深くに座らせてください。

▲ お子さまが正座しないようにしてください。

▲ おしりと [23: インナーパッド] の間にすき間ができないように深く座らせてください。

### 6 幼児ベルトの高さ調整(ヘッドレスト調節)

A [4: 幼児ベルト] をすべり引きし、長さに余裕を持たせて、[1: ヘッドアジャスタ] を上向きに引きながら、

B [4: 幼児ベルト] の高さが肩より少し高くなるように、[2: ヘッドレスト] 及び [4: 幼児ベルト] の高さを調整する。

▲ 車両シートのヘッドレストが干渉する場合は取りはずしてください。

### 7 お子さまを拘束する(幼児ベルト調節)

A お子さまの腕を、矢印のように [4: 幼児ベルト] の下側に通す。

B 左右の [5: タング] を持ち、①右タングを左タングに重ね合わせて、②「カチッ」と音がするまで [6: パックル] に差し込む。

C [4: 幼児ベルト] をお子さまの肩の中央と腰の中央にだけ低い位置にかけ、[4: アジャスタレバー] をまっすぐ手前に引き、左右の [4: 幼児ベルト] のたるみをなくし、お子さまに密着させる。

▲ [8: アジャスタレバー] を斜めに引くとベルトをゆるめ、お子さまをしっかりと拘束できなくなる可能性があります。

① [4: 幼児ベルト] の調節のめやすとしては、お子さまの鎖骨と [4: 幼児ベルト] の間に指一本入る程度が適切です。ゆるかったり、きつかったりするときは、幼児ベルトの長さを調節してください。

### 8 拘束ポイントを確認する

A [4: 幼児ベルト] を引っ張って、[6: パックル] や [4: 幼児ベルト] がゆるまないか確認する。

B [4: 幼児ベルト] がねじれたりせずに、お子さまの肩の中央と腰の中央にだけ低い位置を通っているか確認する。

● お子さまは必ず正しく拘束してください。正しく拘束していないと衝突時などに重大な傷害を負う可能性があります。

① うまくいかない時は  
[6: パックル] の赤いボタンが固くて押せない。 → お子さまが誤って解除しないように固く設定してあります。片手で操作が出来ない場合は両手で押し込んでください。

② [6: パックル] に [5: タング] がはまらない。 → [5: タング] は左右別々の状態ではなりません。右タングを左タングに重ね合わせてから [6: パックル] に差し込んでください。裏面に注意してください。

③ [4: 幼児ベルト] が短い。 → [4: 幼児ベルト] をしっかりと引き出しきれていない可能性があります。[7: アジャスタレバー] を押し込んで、[4: 幼児ベルト] を引き出してください。

### 9 取付けを確認する

① ベースが座席に密着していること。  
② ISOFIX 接続表示が「緑色」になっていること。  
③ トップテザーフックが車両側のトップテザーアンカーにしっかりと固定されていること。  
④ トップテザーベルトがねじれたらやめた方がいいこと。  
▲ ①~④を確認して、しっかりと取付けられていない場合は、再度取付けをやり直してください。

### 10 お子さまを降ろす(幼児ベルト調節)

A [7: アジャスタレバー] の奥側を押しながら、

B 左右両方 (2本) の [4: 幼児ベルト] を同時に手前に引き出す。

① [3: 肩ベルトカバー] ではなく、必ず [4: 幼児ベルト] だけを引いてください。

C [6: パックル] の赤いボタンを押して [5: タング] をはずす。

D [4: 幼児ベルト] を左右に大きく開く。

E ① お子さまの腕を [4: 幼児ベルト] からはずし、② お子さまをチャイルドシートから降ろす。

① 緊急時に [6: パックル] の赤いボタンを押しても、[5: タング] がはずれない場合はシートベルトカッター (市販品) などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

**ハイバックモード** お子さまの身長: 100cm~150cm お子さまの体重: 15~36kg以下

固定方法 **ISOFIX取付け金具** + **車両シートベルト** または **車両シートベルト** のみ

### 1 チャイルドシートモードからハイバックモードへの変更

▲ 本モードではトップテザーは使用しません。[18: トップテザーベルト] は一番短く巻き取り、結束ベルトで留めておいてください。

▲ 本モードでは、[23: インナーパッド] は使用しません。

▲ お子さまの身長が 100cm を超えるまでは「ハイバックモード」で使用しないでください。

● モード変更の前に [4: 幼児ベルト] を最大限に引き伸ばしておいてください。  
※チャイルドシートモード ④ A,B 参照

バックルカバー、インナーパッドをはずす

A [6: パックル] の赤いボタンを押して [5: タング] をはずす。バックルカバーを取りはずす。

B [23: インナーパッド] がセットしてある場合は取りはずす。

C 背もたれカバーのホック (4箇所) をはずし、フラップ部を前方へめくる。

D ヘッドレストカバーの背もたれ部分を上にめくる。

肩ベルトカバーをはずす

E [2: ヘッドレスト] と背もたれにある幼児ベルト通し穴が重なるようにヘッドレストの高さを調節する。(ヘッドレスト高さが最下段から数えて4段目の位置で穴が重なります。)

F [3: 肩ベルトカバー] の面ファスナーをはずし、[4: 幼児ベルト] から [3: 幼児ベルトカバー] をはずす。左右の [3: 幼児ベルトカバー] をそれぞれ2つ折りして幼児ベルト通し穴に貫通させ、本体背面側から引き抜いて取りはずす。

タングを収納する

G [2: ヘッドレスト] を最高位まで引き上げおきます。

H [5: タング] を背もたれ脇にある収納スペースに落とし込む。(この時タングには [4: 幼児ベルト] が付いた状態です。)

肩ベルトカバーとバックルカバーを収納

I 背もたれ下部にある収納スペースを確認し、その中に [3: 幼児ベルトカバー] とバックルカバーを押し込み収納する。

① 左右の [3: 幼児ベルトカバー] はスベリ止めゴム面同士を合わせると押し込みやすくなります。

J ヘッドレストカバーを元にもどし、背もたれカバーのホック (4箇所) をとめる。

### 2 取付けの準備

A 座面シートの下にある [9: リクライニングレバー] を引き上げながら、シートの角度 (リクライニングポジション ①~④の中から選択可) を、お子さまの体に合わせ調整する。

B 走行方向に対して、車両シート上、前向きにして設置します。

### 3 車両への固定

ハイバックモードでは 2通りの固定方法があります。

1. **ISOFIX取付け金具 + 車両シートベルト** の固定の場合  
上記「チャイルドシートモード」の ② を参照し、取付けした後、「ハイバックモード」④ ⑤へ進んでください。

または

2. **車両シートベルト** のみの固定の場合  
ISOFIX 取付け金具は使わずに、このまま「ハイバックモード」④ ⑤へ進んでください。

バックル収納

J 両サイドのホックをはずし、座面カバーをめくり、[6: パックル] をカバー下側から引き抜く。

K 座面カバー下の白クッションシートの中央部をめくり、[6: パックル] を収納部に落とし込み、巻き込むようにして隠れるまで収める。

▲ 白いクッションシートは座面からはがさないでください。

座面カバーを元にもどす

L [8: アジャスタレバー] をたたくで座面に置く。

M 座面カバーを元にもどし、両サイドのホックを止め、ヘッドレストを降ろして完了。

▲ チャイルドシートモードへ戻す場合は、上記の逆手順でおこなってください。

### 4 お子さまを座らせる

A 車両バックルをはずし、お子さまを座面の奥深くに座らせる。

▲ 次のような座らせ方では、本製品が本来の機能を果たせず、危険です。

- 体を左右どちらかに傾けて座る。
- 立てむき・中腰・正座などをとする。
- 前かがみになる、のけぞる。

B [1: ヘッドアジャスタ] を引き上げながら、

C [10: ベルトガイド] が肩と同じ高さか、やや高くなるように調整する。(下図参照)

D 車両シートベルトを引き出し、車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。

E 車両シートベルトを [10: ベルトガイド] に通す。

F 車両シートベルトを左右の [11: 腰ベルトガイド] を通す。

▲ 車両シートベルト(腰側)は、腰の骨の位置にだけ低い位置にかかると調節して、腰部に密着させてください。

▲ お子さまの腕は必ず車両シートベルトの上に出してください。

▲ お子さまを降ろす場合は、上記の逆手順でおこなってください。

### 5 拘束ポイント/取付けを確認する

① ISOFIX 接続表示が「緑色」になっていること。  
② ベースが座席に密着していること。  
③ 車両シートベルト(肩側)がベルトガイドを通り、お子さまの首にかかっていないこと。また、確実に肩にかかっていること。  
④ 車両シートベルト(腰側)が左右の腰ベルトガイドを通っていること。  
⑤ 車両シートベルトがお子さまの体に密着して、ゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。  
⑥ 車両シートベルトのタングプレートとバックルが確実に接続されていること。

▲ ①~⑥を確認して、しっかりと取付けられていない場合は、再度取付けをやり直してください。

①~⑥を確認して、しっかりと取付けられていない場合は、再度取付けをやり直してください。

**メンテナンス**

### 1 カバーを取りはずす (カバーを取付ける)

A ① [6: パックル] を解除し、[23: インナーパッド]、バックルカバーを取りはずす。  
※ハイバックモード ① A,B 参照

② 左右両方 (2本) の [4: 幼児ベルト] を同時に手前に引き出す。  
※チャイルドモード ④ A,B 参照

ヘッドレストカバー

B [2: ヘッドレスト] を引き上げ、ヘッドレストカバーを①~③の順番で脱がし、内側の固定ゴムをはずす。

シートカバー

C 背もたれカバー前面、背面上方、両側下方にあるホック (8箇所) をはずし、シートカバーを①~⑤の順番ではずす。

幼児ベルトカバー

D ヘッドレストと背もたれにある幼児ベルト通し穴が重なるようにヘッドレストの高さを調節し、[3: 幼児ベルトカバー] を本体背面側から引き抜く。  
※ハイバックモード ① E,F 参照

① カバーを取付ける場合は、下記の逆手順でおこなってください。(手順 D-B-C-A)

### 2 重要な注意すべき点

シートカバーは、チャイルドシートが適切に機能するために重要な役割を果たします。パーツ取り付けは、必ずメーカーの認定交換パーツのみを使用するようにし、粉塵または取り付け忘れのように十分注意してください。

### 3 洗濯と日常のお手入れ

日常のお手入れ方法

- 取りはずしたシートカバーは洗ってはいけません。(ワレタン、クッション類は取りはずすことはできません。)
- 当製品は水では洗えません。固く絞った濡れタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。
- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 部品のお取り扱いには、型番と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

▲ 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体、表面の生地、ベルト類をいためおそれがあります。

### 4 保管/廃棄の仕方/製品仕様

保管 ● 製品本体を長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。

廃棄 ● お住まいの自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。  
● 衝突事故や製品を落下させたなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品仕様 製品サイズ W455 D515 H565mm  
材 本 体・PE、ウレタン  
シートカバー表・ポリウレタン 裏・ウレタン

### シートカバーなどの縫製部の洗い方

- 中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で洗い流してください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 洗濯後は、脱水機は使わず、タオルなどで押し干しし、風通しのよい日に干してください。
- アイロン掛けはしないでください。
- ドライクリーニングはしないでください。